

●第3章 51 ページ web 資料

演習1 条件を表す「と・ば・たら・なら」の導入順序について検証しよう。

接続助詞「と・ば・たら・なら」をある条件（下記）で検索すると、表 3.6 ができあがる。

表 3.6 条件表現「と・ば・たら・なら」の頻度

条件表現	件数
と	2,287
ば	1,963
たら	962
なら	581

- BCCWJ-NT の「短単位検索」を使用
- 検索対象：コア全て（出版・新聞，出版・雑誌，出版・書籍，特定目的・白書，特定目的・知恵袋，特定目的・ブログ）
- キー：「キーの条件を指定しない」
- 後方共起1：「語彙素」が「と」&「品詞」の「小分類」が「助詞-接続助詞」
- 後方共起1：「語彙素」が「ば」&「品詞」の「小分類」が「助詞-接続助詞」
- 後方共起1：「語彙素」が「た」&「品詞」の「大分類」が「助動詞」&「書字形出現形」が「たら」
- 後方共起1：「語彙素」が「だ」&「品詞」の「大分類」が「助動詞」&「書字形出現形」が「なら」

●第3章 52 ページ web 資料

そこで、条件表現の文法的特性の傾向を把握するため、「と・ば・たら・なら」に前接する語の品詞割合をある方法（下記）で調べると、表 3.7 ができあがる。

表 3.7 条件表現「と・ば・たら・なら」に前接する品詞の割合

条件表現	総数	動詞	イ形容詞	助動詞	その他
と	2,287	83.43%	2.54%	13.95%	33.06%
ば	1,963	70.25%	5.55%	23.94%	59.25%
たら	962	77.75%	1.77%	20.17%	44.18%
なら	581	22.03%	1.20%	7.75%	86.92%

- 表 6 のデータでピボットテーブルを作成
- 「品詞」を「行ラベル」と「値」にドラッグ&ドロップする
- 「形容詞-一般」と「形容詞-非自立可能」は合計して「イ形容詞」とする
- 「動詞」「イ形容詞」「助動詞」以外は合計して「その他」とする
- 「データの個数/品詞」を「総計」で割り算してパーセンテージを求める

●第3章 53 ページ web 資料

演習 2 「～ています」を導入するとき、「電話をかけています」は妥当かコロケーションの観点から検証しよう。

この課題を解決するには、「～ている」と「～をかけている」の両方を検索する必要がある。まず、「かけている」が妥当かを検証し、続いて「電話をかけている」が妥当かを検証するわけである。

まず、「～ている」に前接する動詞をある方法（下記）で検索すると、表 3.8 ができあがる。

表 3.8 「～ている」に前接する動詞

順位	文型	件数
1	為る (する)	57,632
2	成る (なる)	14,359
3	見る (みる)	3,686
4	来る (くる)	3,043
5	付く (つく)	1,793
6	遣る (やる)	1,775
7	続ける (つづける)	1,589
8	出来る (できる)	1,152
9	仕舞う (しまう)	1,088
10	掛かる (かかる)	986

- BCCWJ-NT の「短単位検索」を使用
- 検索対象：全て
- キー：「品詞」の「大分類」が「動詞」
- 後方共起 1：「語彙素」が「て」 & 「品詞」の「小分類」が「助詞-接続助詞」
- 後方共起 2：「語彙素」が「居る」 & 「品詞」の「小分類」が「動詞-非自立可能」
- 10 万件を超えるので、10 万件分のデータを使用（本来は分割してデータをダウンロードして、ランダムサンプリングをするべきであるが、ここでは手順を省略する）
- ピボットテーブルを作成
- 「語彙素」を「行ラベル」と「値」にドラッグ&ドロップする
- 「行ラベル」にある「その他の並べ替えオプション」で「データの個数/語彙素」の降順にソートする

●第3章 53 ページ web 資料

続いて、「かけている」を導入するとして、「～をかけている」に前接する名詞は「電話」が妥当なのだろうか。これについても、ある方法（下記）で検索してみると、表 3.9 ができあがる。

表 3.9 「～をかけている」に前接する名詞

順位	文型	件数
1	眼鏡	104
2	迷惑	71
3	電話	64
4	声	64
5	拍車	40
6	サングラス	36
7	期待	30
8	圧力	26
9	金	26
10	時間	25
10	命	25

- BCCWJ-NT の「短単位検索」を使用
- 検索対象：全て
- キー：「品詞」の「大分類」が「名詞」
- 後方共起 1：「語彙素」が「を」と「品詞」の「小分類」が「助詞-格助詞」
- 後方共起 2：「語彙素」が「掛ける」と「品詞」の「小分類」が「動詞-非自立可能」
- 後方共起 3：「語彙素」が「て」と「品詞」の「小分類」が「助詞-接続助詞」
- 後方共起 4：「語彙素」が「居る」と「品詞」の「小分類」が「動詞-非自立可能」
- ピボットテーブルを作成
- 「語彙素」を「行ラベル」と「値」にドラッグ&ドロップする
- 「行ラベル」にある「その他の並べ替えオプション」で「データの個数／語彙素」の降順にソートする